



2026年5月14日

各 位

会 社 名 三和ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 高山 靖 司
(コード番号 5929 東証プライム市場)
問 合 せ 先 総務部長 元 木 崇 延
(TEL 03-3346-3039)

配当方針の変更および記念配当に関するお知らせ

当社は、本日公表いたしました「2026年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載のとおり、配当方針の変更および記念配当を実施することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

【配当方針の変更】

1. 変更の理由

当社グループは、財務の安定性と資本効率のバランスを重視し、持続的な成長に向けた投資と株主還元の最適な資金配分を図るとともに、資本コストや株価を意識した経営により中長期的な企業価値を高めていくことを資本政策の基本としております。

上記資本政策の基本的な考えのもと、2025年度から、より安定的な配当を実施するため、従来の配当性向 40%を目安とする配当方針から、DOE（自己資本配当率）8%を目安とする配当方針へ変更いたしました。このたび、継続的かつ安定的な配当を行うことを目的として、市場価格変動の影響を受けにくく、より当社の実態に即した指標とするため、DOEの算定基準を自己資本ベースから株主資本ベースへ変更するとともに、DOEの水準を8%から10%に引き上げることといたしました。

2. 変更内容

(1) 変更前

当社は株主に安定的な利益還元を行うことを経営における重要課題の一つと認識し、配当については、自己資本に基づくDOE(自己資本配当率)および今後の経営施策を勘案のうえ、安定した配当を行うことが株主の要請に応えるものと考えております。具体的にはDOE(自己資本配当率)8%を目安に安定的な配当を図ることを目指します。

$$\text{DOE (自己資本配当率)} = (\text{年間配当総額} / \text{連結自己資本 (中間配当前)}) \times 100$$

(2) 変更後（下線部は変更箇所を表す。）

当社は株主に安定的な利益還元を行うことを経営における重要課題の一つと認識し、配当については、株主資本に基づくDOE(株主資本配当率)および今後の経営施策

を勘案のうえ、安定した配当を行うことが株主の要請に応えるものと考えております。具体的にはDOE(株主資本配当率)10%を目安に安定的な配当を図ることを目指します。

$$\text{DOE (株主資本配当率)} = (\text{年間配当総額} / \text{連結株主資本}) \times 100$$

3. 変更時期

2027年3月期の中間配当(第2四半期末)より適用いたします。

【記念配当の実施】

当社は、本年4月10日をもちまして、創立70周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係各位の長年にわたるご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

これまでのご支援への感謝の意を表すとともに、株主の皆様への還元を一層充実させるため、2027年3月期において、1株当たり14円(第2四半期末7円、期末7円)の記念配当を実施することといたしました。

【2027年3月期の年間配当予想】

2026年度の配当金につきましては、第2四半期末配当は普通配当66円に記念配当7円を加えた73円、期末配当は普通配当66円に記念配当7円を加えた73円となり、年間配当は1株当たり146円となる予定です。

なお、今後の配当については、財務の安定性および資本効率とのバランスを十分に考慮したうえで、上記の年間配当146円を下限の目安として、業績や経営環境に応じてさらなる株主還元の充実を検討してまいります。

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
2027年3月期予想	普通配当 66円 記念配当 7円 (計 73円)	普通配当 66円 記念配当 7円 (計 73円)	普通配当 132円 記念配当 14円 (計 146円)
(ご参考) 2026年3月期	普通配当 62円	普通配当 68円	普通配当 130円

以上